



# ヨーロッパ人から見た 道元禅師の『正法眼蔵』

日時 2015年7月25日(土)

時間 15:00~17:00

会場 東洋大学白山キャンパス  
125記念ホール



## 第1部 アルド・トリーニ先生 講演会

「ネガティブなアプローチで悟りを教える  
—道元禅師の言語ストラテジーを中心に—

アルド・トリーニ先生



〈アルド・トリーニ先生 プロフィール〉

カ・フォスカリ大学(ヴェネチア)アジア・北アフリカ学科准教授。専攻は日本語学、日本仏教、日本の伝統文化で、『日本における茶の文化(イタリア語)』『禅・その歴史、宗派と教典(イタリア語)』などの著書、「和歌を仮名で書くことについての一考察(日本語)」などの論文がある。

### 講演要旨

西洋のキリスト教の伝統ではポジティブな言語ストラテジーに基づいた教えのほうが多いのに対して、東洋の仏教ではネガティブなアプローチがよく使われる。たとえば、「無心」「無我」「不思量」「非思量」「無仏性」などである。日本仏教の思想家の中でネガティブなアプローチを多用した代表は道元禅師である。西洋言語では否定形が基本的に一つしかないのに対してポジティブ/ネガティブのコントラストがはっきりしているが、日本語や漢文には多数あるため、そのコントラストのニュアンスはいろいろな形を取る。『正法眼蔵』を例に道元禅師のネガティブ・アプローチの言語ストラテジーに基づく教え方の特徴について話しを進めたい。

## 第2部 『正法眼蔵』の思想と翻訳をめぐる対論

アルド・トリーニ先生(『正法眼蔵』イタリア語訳者)  
×  
何燕生先生(『正法眼蔵』中国語訳者)



〈何燕生先生 プロフィール〉

郡山女子大学教授 中国湖北省に生まれる。東北大学大学院文学研究科博士課程修了。文学博士。郡山女子大学短期大学部文化学科教授。専攻は中日仏教交流史、日本仏教思想史(特に道元禅、空海)、近代東アジアの禅仏教と哲学、死生観の宗教学的研究、自然災害と宗教の役割などで、著書に『道元と中国禅思想』(京都・法蔵館、日本宗教学会賞受賞)、訳書に『正法眼蔵』(道元著、北京・宗教文化出版社、財団法人正法伝光会学術奨励賞受賞)がある。



東洋大学

お問い合わせ

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20  
東洋大学東洋学研究所 担当：伊吹  
E-MAIL: ibuki@toyo.jp